

芸術的な写真が全国から集まった アート・フォト・NARITA

9月1日から10月15日まで募集を行っていた「第1回アート・フォト・NARITA」の入賞作品展示が、11月17日から12月2日まで行われ、展示初日に11月17日には表彰式を執り行いました。

北は北海道から南は沖縄まで全国24都道府県より68名が応募し、189点の作品が集まりました。その頂点、成田市長賞の栄冠に輝いたのは、高嶋玲榛さんの「water dance」



公園の噴水とダンスをしている女性の姿が合成された作品で素人目には合成だと思えないくらい、水しぶきが女性に本当に当たっているかのように光加減や露出具合を調整された美しく優れた作品です。

この他、成田市議会議長賞には、大槻国男さんの「落日昇月」が、館長賞には清水進さんの「Holiday」が選ばれました。

11月17日に行われた表彰式では、小泉市長・伊藤議長・田村館長からそれぞれ入賞者に賞状と副賞が手渡され、審査員長を務めた弘海和良さんから講評がありました。



市長賞を受賞した高嶋さんは、「普通の写真コンテストは多くあっても、合成や色調整の許されたアートフォトのコンテストは少ない。こういった公募展、しかも1回目のコンテストで入賞でき嬉しい」と語っていました。来年度も開催予定なので、アートフォト写真家のみなさん、是非ご応募ください。

「もりんぴあ ザ・お正月」は公津地区年始の恒例イベントへ

1月13日に『もりんぴあ ザ・お正月』が開催され、新年をお祝いしました。なかよしひろば前の通路では、杵と臼が用意され、餅つきが行われました。最近では、餅つきを行う家庭も減っているようで、通りかかった方々も興味津々な眼差しでご覧になり、実際に餅つきに参加されておられました。



また、コミュニティセンター運営協議会やボランティア「杜の風」により、きな粉もち・お雑煮が販売され、買い求める人々が長い列をなしていました。



サロンでは、成田国際高等学校 箏曲部による演奏が行われ、「SEKAI NO OWARI」の曲を箏用にアレンジして演奏したり、印象的でエキゾチックな曲

「炎」などを演奏しました。また実際に箏に触れることのできる体験コーナーも好評で箏の定番曲「さくらさくら」を演奏しました。

そして、ホールでは『第6回もりんぴあ寄席』が行われ、落語4演目、漫才1演目が披露され、ホールが大きな笑い声に包まれました。



どの催しも「和！ザ・日本」というもので、お正月の雰囲気彩りを添えるのになりました。

プロのピアニストによる驚愕の旋律 がホールに響き渡りました！

今回で6回目を数える「クリスマスミュージックフェスタ」。若手アーティストを招いて、良質な音楽とクリスマスを楽しむコンサートで、今回は12月23日に行われました。

第1部を飾ったのは、なかよしひろば利用者の有志で結成されたミュージックベルグループ「B-Girls」と成田市立平成小学校合唱部、そして池田慶太さんと池田永奈さんによる連弾。第2部は鈴木慎崇さんによるピアノ演奏。鈴木さんは幼少のころより、多くのコンクールで入賞や1位に輝く実力派。

またさまざまなオーケストラとの共演やリサイタル、FM、CDなど活躍は多岐にわたる。また大学の非常勤講師として、後進の指導に力を入れています。そんな鈴木さんがバッハ、モーツァルト、ベートーヴェンの楽曲を演奏し、来場者を魅了しました。



男の料理教室開催！豪快ながらも繊細な味付けの料理が完成！

1月27日、キッチンスタジオにて「男の料理教室」が行われ、10名の男性が参加し、料理を楽しみました。この日の献立は和食で里芋の炊き込みごはん・生姜焼き・ポテトサラダ・豚汁・豆腐そぼろの5種類。



料理好きの方、初心者の方、さまざまな方が参加されましたが、どなたも和気あいあいと調理を行っていました。材料もレシピも一緒ですが、作業工程のわずかな時間の差などで味が変わっており、隣のグループとの食べ比べを行ったりして、それぞれの味を楽しんでいました。

図書館だより

Public Library

昨年の12月21日(金)に、もりんぴあ3階の工芸スタジオで、成田市内の小学生を対象にした「杜のクリスマスおはなしかい」を開催しました。

前半は、おはなしと絵本の読み聞かせを行いました。おはなしは「だめといわれてひっこむな」と「子うさぎましろのお話」、絵本は「まよなかのゆきだるま」でした。折り紙で作った星や雪の結晶を飾った部屋の中で、この季節ならではのおはなしを聞き、子どもたちもクリスマスの雰囲気を楽しんでいたようです。



後半では、クリスマスのオーナメントを作りました。まつぼっくりを緑と白に色付けてモミの木に見立て、ビーズやモールを使って思い思いに飾り付けていきます。たくさん色を使ったり、決まった種類の材料を使うことにこだわったりと、

個性あふれる自分だけのクリスマスツリーができあがりしました。2つずつ作ることを目標にしていたのですが、中には3つ目、4つ目に挑戦する子どもたちもいました。クリスマス前の心躍る季節に、楽しい時間を過ごすことができました。



なかよしひろばだより

Children Space

雪の日のウインターコンサート♪

朝から雪が降る中、なかよしひろばではほっこりとウインターコンサートを開催しました。



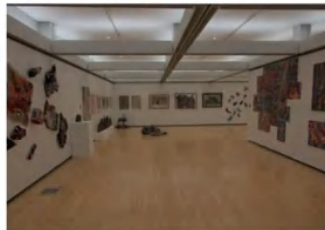
利用者さんからも「今日は開催しますか？」と問い合わせがあるなど心配な天候でしたが、コンサート開始前には小降りになり、20組近くの親子が来所し音楽を楽しみました。最初に綱春子さんによるアイリッシュハープの演奏。小型のハープが奏でる繊細な音を親子とも耳を澄まして聴いていました。子どもはもちろん大人もこのような形のハープを初めて見て演奏を聴く人がほとんどで、貴重な機会となったようでした。

ソプラノの坂木郁子さんは『春よ、こい』などおなじみの童謡や子守唄を美しい声で歌ってくれました。子どもたちも大好きな『もりのクマさん』では女の子とクマの人形が登場。歌詞にあわせてかけあいしながら歌う様子を、親子でリズムにのりながら楽しそうに見ていました。



最後はスタッフによるリコーダー演奏。また、パネルシアターを見ながら皆で『ゆきやこんこ』を一緒に歌いました。外の雪も雰囲気作りに一役かい、タイトルどおり”冬”を楽しむコンサートとなりました。

地域の芸術作品の集合場所に！



1月2月はギャラリーでさまざまな芸術作品が飾られました。「まにまに展」では東北芸術工科大学の卒業生で千葉県出身の若手作家が作り上げた絵画、家具などバラエティにとんだ展示が行われ、「生活工房の表現者たち」では、知的障がい・発達障がいの方が制作した絵画、粘土造形など個性豊かな作品が展示されました。また「成田市立西中学校 書道部作品展」では、中学生の力強くダイナミックな書が来館者の目をうばっていました。ギャラリーMORI×MORIの良いところは、違う目的で館を訪れていても、気軽に覗けること。ぜひ、いろいろな作品をお楽しみください。



★ おまけの1枚 ★

吹き抜けに展示された大きな2枚の書。市内在住の書家 宇里香菜さんによる「新たな風」と「禱(いのり)」。お正月にサロンで書き上げられた2枚は大変好評で期間を延長して2月まで飾られました。

■ ■ ■ ■ 編集後記 ■ ■ ■

1月、成田山へ初詣に行った帰り、甘いものが食べたくなったので、お土産屋さんに入ると見た目が某有名お土産に似た和菓子を発見し購入。帰って早速食べてみましたが、頭の中では、某有名お土産として食べているので、食感・味が現実とあわない。美味しかったけどモヤモヤが残りました(笑) (K)

因果律の考察は「バタフライ効果」なる寓意を生んだ。地球の裏側の羽ばたきが、こちら側で台風になるという。それにしても蝶の飛び方は不思議だ。心もとなげに韃靼海峡を渡っていく。「蝶の羽音なく午睡する書架に『レオナルド手稿』ひとりでに開く」(『bibliothèque』から) (T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人：田村 修 編集：鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL 0476-27-5252 FAX 0476-27-5353

E-mail info-kozu@morinpiakozu.jp

HP http://www.morinpiakozu.jp/

もりんぴあ
MORIPIAKOZU
MorinpiaKozu